



参加者募集 – 情報および通信 技術における審査

2020年9月3日本曜日



GFSI は、審査における情報通信技術の活用に関するワーキンググループ（技術委員会）に参加していただける学術専門家を募集しています。

情報通信技術（ICT）（1）の利用は、家庭と職場の両方の日常生活で着実に増加しており、審査の実践においてもますます増加しています。「遠隔」審査の実践は、一部の業界ではすでに一般的であり、食品業界のような他の業界でも新たに出現しています。

2020年6月、GFSIステークホルダー・アドバイザリー・フォーラムの支援を受けて、GFSIは、GFSI承認CPOによるICT利用の枠組みを提供する新しいベンチマーク要件を導入しました。これら

の改定されたベンチマーク要件を公表するにあたり、GFSI は、このような技術を使用した審査の有効性に関する新しいデータや証拠が利用可能になった際には、このトピックに関する私たちの立場を定期的に見直すことを約束しました。

このコミットメントに沿って、GFSI は 5 人の学術専門家からなるワーキンググループを立ち上げ、審査対象組織とその食品安全慣行のコンプライアンスを検証する手段として、食品安全審査中の ICT の使用に関する証拠の独立したレビューを提供しています。

当ワーキンググループの任務

アカデミックワーキンググループの目的は以下のとおりです。

1. 従来の現場での審査と同様の結果を保証するために、ICT を使用した審査と検査の有効性に関して提供された証拠を確認します。
2. ICT のさまざまなタイプの使用法、つまり、現場訪問に基づく体制の代替/強化を明確にする。
3. 食品安全審査での ICT の使用が現場での審査の効果的な代替手段と見なされる基準を検討する。

当ワーキンググループの業務の中心は、食品安全審査と検査ですが、これに制限されず、ICT の利用や遠隔審査/検査が使用される可能性がある他の部門からデータや証拠を収集することも含まれます。

申請方法

アカデミックワーキンググループへの参加に興味があり、選択基準を満たしていると思われる場

合は、こちらのオンライン申請フォームに記入してください。

候補者は、当ワーキンググループ内で以下の専門知識のバランスを考慮して選ばれます。

- 食品および他の業界における検査および審査実務。
- 食品安全監視実務
- 情報通信技術の使用
- 食品安全関連の規律。

グループの独立性を維持するために、専門家は、食品業界およびその商業的なサービス提供者との商業的なつながりを持たない学術コミュニティから選ばれることが望ましいでしょう。

また、世界のさまざまな地域からの代表とグローバルな視点を確保するためにワーキンググループの参加者を選出します。

このグループは、構成規則を除き、ワーキンググループに適用される GFSI ガバナンス規則に従うものとします。これには、毎月のビデオ会議が含まれ、グループの委任期間中は出席が義務づけられます（注：このグループでは、物理的な会議は必要がないと想定されています）。したがって、候補者はこのワーキンググループに参加するには、現在の雇用主からサポートを受ける必要があります。

このワーキンググループのすべての会議とコミュニケーションは英語で行われます。

タイムライン

この参加募集は、2020年9月11日まで受け付けています。

その後、グループは2020年10月1日から12月31日まで開催される予定です。

(1) 情報通信技術：情報の収集、保存、取得、処理、分析、および送信のための技術の使用。スマートフォン、ハンドヘルドデバイス、ラップトップコンピューター、デスクトップコンピューター、ドローン、ビデオカメラ、ウェアラブル技術、人工知能、電子メールなどのソフトウェアとハードウェアが含まれます（GFSIベンチマーク要求事項パートIVバージョン2020.1）